

読むこと：文学的な文章（低学年）

Step 1 単元・教材の決定

1年：繰り返しのお話を楽しもう
「おおきなかぶ」
2年：お話を読んでしょうかいしよう
「スイミー」

※ 領域をそろえるため、2年生の教材を移動しました。

| 【1】年 | | | 【2】年 | | |
|------|----------------|----|------|------------------|----|
| 月 | 単元名・教材名 | 時数 | 月 | 単元名・教材名 | 時数 |
| 6月 | わげを はなそう | 2 | 6月 | うれしい ことば | 2 |
| 書4 | おばさんと おばあさん | 2 | 書4 | かん字の ひろば① | 2 |
| | くちばし | 8 | | かたかなの ひろば | 2 |
| | おもちゃと おもちゃ | 2 | | 【じょうほう】メモをとるとき | 3 |
| | あいうえおで あそぼう | 3 | | こんなもの、見つけたよ | 10 |
| | おおきくなった | 4 | | ・【コラム】丸、点、かぎ | |
| | おおきな かぶ | 6 | | スイミー | |
| 7月 | はをへをつかおう | 3 | 7月 | あつらいいな、こんなもの | 8 |
| 書3 | すきなもの、なかに | 7 | 書3 | 夏がいつばい | 2 |
| | おむすびころりん | 5 | | お気に入りの本をしょうかいしよう | 6 |
| | としょかんと なかよし | 2 | | ・ミリーのすてきなぼうし | |
| | こんなことがあったよ | 6 | | | |

Step 2 単元目標や指導事項の確認

① 単元名等から単元で身に付けさせたい力を明確にもつ。

文学的な文章（1・2年）

1年：場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える力
2年：登場人物の行動を具体的に想像してあらすじをまとめる力

② 指導書等の単元の指導目標と学習指導要領の指導事項とをすり合わせる。

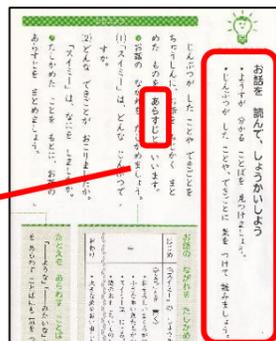
≪1年の指導目標≫：指導書

- ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気付けて音読することができる。(知(1)ク)
- ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思C(1)イ)

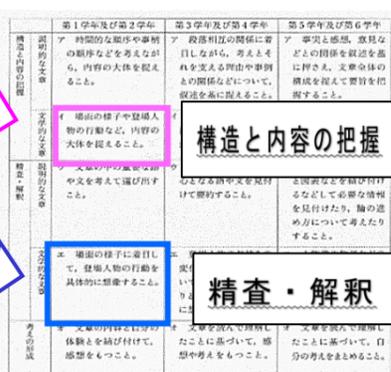
≪2年の指導目標≫：指導書

- ◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思C(1)エ)
- 身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知(1)オ)

【国語教科書（光村図書）】



【学習指導要領解説「国語編」】



Step 3 単元を通した言語活動の設定

1年：物語を楽しんで音読したり、劇遊びをしたりする。
2年：物語を読んで紹介文を書く。

両学年共通の言語活動

物語発表会をしよう。

1年：「大きなかぶ」音読劇
2年：「スイミー」紹介文



Step 4 単元計画の実際

1・2年複式 「読むこと（文学的な文章）」単元計画

1年

～繰り返しのお話を楽しもう～
「おおきなかぶ」

2年

～お話を読んでしょうかいしよう～
「スイミー」

| 学習活動 | 学習活動 |
|---|--|
| 1 ゴールの活動をイメージ 「おおきなかぶ」音読劇 2年生に たのしく「おおきなかぶ」おんどくげきを はっぴょうしよう。 ・試しのおんどくげきをする。 どうすれば たのしいおんどくげきができるのでしょうか。 | 1 ゴールの活動をイメージ 「スイミー」のお話しょうかい 1年生に 分かりやすく「スイミー」のお話をしょうかいしよう。 ・試しのしょうかい文を書く。 どうすれば 分かりやすくお話をしょうかいてできるのでしょうか。 |
| 2 学習計画 ① 音読劇の役になりきるために、登場人物の行動や気持ちを読み取る。 ② 役割分担して音読劇の練習をする。 ③ 発表会をする。 ・場面ごとに題名をつける。 「○○○おおきなかぶ」 | 2 学習計画 ① お話紹介をするために、登場人物がしたことやできごとを読み取る。(あらすじ) ② 紹介文を書く。 ③ 発表会をする。 ・場面ごとに題名をつける。 「○○○スイミー」 |
| 3 教材文「おおきなかぶ」から学ぶ。 (登場人物の行動や気持ちを読み取る) 1 わくわくおおきなかぶ | 3 教材文「スイミー」から学ぶ。 (あらすじを捉える) 1 元気に泳ぐ魚のきょうだいとスイミー |
| 4 登場人物の気持ちを読み取る。 2 ぬけなくてざんねんおおきなかぶ | 4 あらすじを読み取る。 2 こわくて大きな魚からにげるスイミー |
| 5 登場人物の気持ちを読み取る。 3 やっぱりぬけないおおきなかぶ | 5 あらすじを読み取る。 3 くらげを見て元氣わくわくスイミー |
| 6 登場人物の気持ちを読み取る。 4 なかなかぬけないおおきなかぶ | 6 あらすじを読み取る。 4 ともだちにあってかんがえるスイミー |
| 7 登場人物の気持ちを読み取る。 5 とうとうぬけたおおきなかぶ | 7 登場人物の気持ちを読み取る。 5 がんばって大きな魚になったスイミー |
| 8 音読劇の練習をする。 ・登場する順序 ・登場人物の行動 ・登場人物の気持ち | 8 紹介文を書く。 ・登場人物 ・あらすじ ・思ったこと |
| 9 音読劇を発表する。 | 9 紹介文を発表する。 |

物語発表会をしよう
1年：「大きなかぶ」音読劇
2年：「スイミー」紹介文

場面の様子や登場人物の行動など、
内容の大体を捉える力

登場人物の行動を具体的に想像して
あらすじをまとめる力

楽しく音読劇を
表したい(必要感)

登場人物の行動や
気持ちを読み取る
考えたいよ(実感)

場面に合った音読が
できるよ(達成感)

分かりやすくお話を
紹介したい(必要感)

登場人物がしたことやできごとを
見付けたいよ(実感)

あらすじをまとめる
れるよ(達成感)

必要性

自律性

関係性

有用性

Step 5 1 単位時間の実際

本時（第1学年：6/9）

本時（第2学年：6/9）

(1) 目標

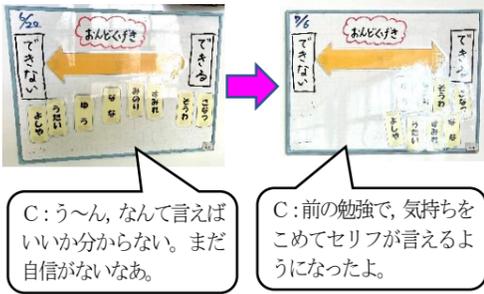
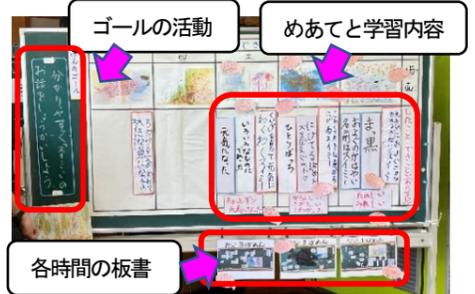
○ 登場人物の行動や気持ちなどを捉え、想像を広げながら読むことができる。

○ 登場人物の行動や出来事から想像を広げ、内容を捉えることができる。

(2) 指導に当たって

つかむ・見通す段階では、学習計画を確認したり前時の復習などしたりして、単元のゴールの活動に向けて本時のもつ意味をしっかり捉えた上で学習に取り掛かるようにさせる。調べる段階では、パターン化された学習の流れを生かし、主体的に自力解決を図れるようにしたい。練り上げる段階では、出されたそれぞれの考えからガイドを中心に共通点や大切な言葉を自分たちで見付け、まとめへとつなげていきたい。まとめる段階では、見付けた共通点や大切な言葉を基に、自分たちでわかりやすく一般化させたい。振り返る段階では異学年の交流の場を設け、学習内容の系統性や関連性なども見付けていきたい。

(3) 実際 ※ 必要性： 自律性： 関係性： 有用性： **あ**：子供の主体的な学習 **い**：同学年の学び合い **う**：異学年の学び合い **え**：積極的な個別対応

| 指導上の実際 | 主な学習活動（第3学年） | 過程 | 位置/時間 | 過程 | 主な学習活動（第4学年） | 指導上の実際 | | | | |
|---|--|-------|-------|-------|--|---|----|-----|--|---|
| <p>あ 毎時間、現段階でゴールの活動（音読劇）ができそうかをWhich型で確認していき、学習を重ねるごとに、必要な資質・能力が身にできてきていることを実感できるようにした。</p>  <p>C: う～ん、なんて言えばいいかわからない。まだ自信がないなあ。</p> <p>C: 前の勉強で、気持ちをこめてセリフが言えるようになったよ。</p> | <p>1 単元のめあてとゴールの確認</p> <p>2 前時の復習</p> <p>3 学習問題（本時の学習）の確認</p> <p>4 場面：まだまだぬけない おおきなかぶ</p> <p>4 気付いたことの話合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 犬やねこも加わって人数が増えた。 もうすぐ、かぶがぬけるかもしれない。 <p>5 めあての設定</p> <p>かぶをぬこうとするとうじょうじんぶつは、どんなきもちでしょうか。</p> | つかむ | 10 | 見通す | <p>1 単元のめあてとゴールの確認</p> <p>2 前時の復習</p> <p>3 学習問題（本時の学習）の確認</p> <p>4 場面：ともだちにあつて うんとかんがえるスイミー</p> <p>4 気付いたことの話合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さな魚のきょうだいたちを見付けた場面だね。 スイミーは、たくさんの方を考えたんじゃないかな。 <p>5 めあての設定</p> <p>スイミーは、どんなことをかんがえたのでしょうか。</p> <p>6 解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに考えを書く。 自分の考えた作戦を役割演技で発表する。 | 見通す | 20 | 調べる | <p>7 自力解決</p> <p>わたしだったら「こんじゃ作戦」。こっそりみんなで逃げたらいいよ。</p> <p>ぼくは「すばらしいもの作戦」。イセエビやクラゲに会わせたら小さな魚たちも元気になるんじゃないかな。</p> | <p>あ 各時間の学習内容や板書を学習計画に掲示していき、ゴールの活動に向けて、着実に学びが進んでいることを視覚的に捉えられるようにし、意欲的に学習に取り組めるようにした。</p>  <p>各時間の板書</p> <p>「もし自分だったら…」と自分の立場で考えさせることで、より主体的に問題解決に取り組めるようにした。</p> <p>どんな作戦がいいかなあ。これまでの話から考えてみよう。</p> |
| <p>え 「ガイドの手引き」等を活用して、ガイド学習を充実させることで、教師が柔軟に個別指導に入ることができるようになった。</p>  <p>このふきだしには、おじいさんの気持ちを書けりいいのよ。</p> | <p>6 解決の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの吹き出しに気持ちを書く。 役割演技で劇をしてみよう。 <p>7 自力解決</p> <p>ワークシートの吹き出しに気持ちを書いてみよう。</p> <p>おじいさん：「うーん、なかなかぬけないなあ。」</p> | 調べる | 20 | 練り上げる | <p>8 考えの共有</p> <p>やっぱりまぐろを追い払わないといけないね。だからスイミーは大きな魚になろうと…。</p> <p>スイミーは本当にたくさん考えたんだね。</p> | <p>い より登場人物の心情に迫るために、役割演技を取り入れ、話合いの充実を図った。</p>  <p>C: 海にはすばらしい生き物がたくさんいたから、仲間にしたらいいと思うよ。</p> | | | | |
| <p>い ガイド役が中心となり、出てきた考えの共通点を見付けることで、まとめにつながるような話合いをさせた。</p>  <p>C: みんなの考えに「力をあわせて」という言葉がたくさんあるよ。これが共通点だね。</p> | <p>8 考えの共有</p> <p>かぶもぬいてほしいと思ってるんじゃないかな。</p> <p>「力をあわせよう」ところは、みんな似ているね。</p> | 練り上げる | 15 | まとめる | <p>9 学習のまとめ</p> <p>「あとすこしでぬけるぞ。力をあわせよう」というきもちでがんばっている。</p> <p>10 習熟</p> <p>4 場面までを音読劇でやってみよう。</p> | <p>う 学びの深まりや話合いのよさを実感できるように振り返りを行う。系統性や関連性を明らかにするために、異学年の交流を行った。</p>  <p>C: 次はみんなで大きな魚になる場面です。「力をあわせる」というところが、1年生の「大きなかぶ」と似ているなあと思いました。</p> | | | | |
| <p>い 学習で学んだことを実際の場面で生かせるように、試しの活動（音読劇）を取り入れて、達成感を味わえるようにした。</p>  <p>C: 「力をあわせる」感じを出すためには、動きやかけ声をそろえるといいね。</p> | <p>9 学習のまとめ</p> <p>スイミーは、きょうだいたちを守るためにたくさん考えて、海で一番大きな魚になることをきめた。</p> <p>10 習熟</p> <ul style="list-style-type: none"> 4 場面のあらすじをまとめる。 スイミーにお手紙を書く。 <p>11 振り返り・交流</p> <p>〇〇さんの意見を聞いて、スイミーは仲間を守るために、本当に一生懸命考えたんだなと思いました。次の場面でお話全体のあらすじが見えてくるので楽しみです。</p> | まとめる | 15 | 振り返る | | | | | | |